



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1130

10.11.2024 (135)

白人種の知られざる英雄たち

パート3

ウィリアム・ダドリー・ペリー

ジョージ・オーウェルはその予言的小説『1984年』の中で、アメリカが急速に変貌しつつある社会の姿を描いた。その“未来”の時代のモットーは、“現在を支配する者は過去を支配し、過去を支配する者は未来を支配する”というものだった。そのマインドコントロールの一翼を担ったのが、メモリーホールである。それは、ビッグ・ブラザー・システムにとって不都合な過去に関するあらゆる情報が投げ込まれる焼却炉であった。ユダヤ人が支配するわが国のエスタブリッシュメントが、いかに1984年のそれと似ているかを示すために、ウィリアム・ダドリー・ペリーの物語を紹介しよう。

1930年代の10年間を通じて大きな見出しを飾った大衆運動の指導者でありながら、彼の名前は今日、一握りの研究者を除いてまったく知られていない。大恐慌時代の数少ない歴史の中で、まれに、ほんの一瞬、彼について言及される以外には、彼の劇的な人生についての本はなく、新聞や雑誌の記事さえない。彼の写真は『ニュー・オーダー』のページ以外には見あた

らないし、何万人もの信者の写真もない。彼のスピーチは、何百万人もの人々に聞かれ、時には全国規模のラジオ放送で流されたにもかかわらず、入手することはできない。チャールズ・リンドバーグのような伝説的英雄の友情と、フランクリン・ルーズベルトのような伝説的悪党の憎悪を集めた。シンクレア・ルイスは、彼の人生をもとに長編小説『*It can't happen Here*』を書いた。セオドア・ドライザー、H.L.メンケン、F.スコット・フィッツジェラルドなど1920年代の著名人の作品とともに、彼の著書は現代アメリカ文学の最前線として大学のカリキュラムに組み込まれた。しかし、今日、彼の作品を取り上げる大学の名著講座は皆無に等しい。ノートルダムのせむし男』のような古典的な戯曲の作者である。時代に与えた影響は否定できないにもかかわらず、彼の名前は現代史から徹底的に抹殺され、彼の著書は（発禁や焚書よりも）出版されず、彼の政治的功績は忘却の彼方に追いやられている。

何カ月もかけてこの記事のための資料を調べようとした結果、彼の唯一の伝記は18年前に書かれたもので、敵対的な大学院生による無名の大学論文であることがわかった。散在する追加データの断片は、埃にまみれた図書館のアーカイブを経由して、ペリー自身の出版物のゼロックスから得たものだ。彼に関するすべてのものは、オーウェルが描いたモデルよりもはるかに現実的な、本物のメモリーホールに放り込まれた。ウィリアム・ダドリー・ペリーに関するすべての情報を消し去るユダヤのビッグブラザーは、マーティン・ルーサー・キング・ジュニアやマルコムXの “偉大さ” を讃える学校の教科書や疑似ドキュメンタリーがテレビや映画でたくさん見られるようにする過去の支配者と同じである。

ロシアの恐怖

ウィリアム・ダドリー・ペリーは1890年3月12日、マサチューセッツ州リンで極貧の家庭に生まれた。彼が子供時代に覚えているのは、「いつも空腹で、みすぼらしい服を着ていた」ということだけだった。黒人の無能さを擁護する人々とは異なり、若きウィリアムは逆境に立たされても、自分の人生を何かを成し遂げようとはしなかった。彼にとって、困窮は怠惰や失敗の言い訳ではなく、向上へのきっかけだった。まだ10代前半だった

ウィリアムは、ティッシュ工場で低賃金労働に従事した。しかし、彼は小銭を貯め、機会あるごとに読書をして自分を教育した。読書は彼の唯一の情熱であり、青春時代の苦役と物質的困窮からの逃避であった。彼は特にアメリカの古典的な作家、フォー、エマーソン、オーヘンリーなどを愛読し、作家になることを夢見ていた。そして作家になることを夢見ていた。18年生になると、彼は他の大学卒業生よりも良い教育を受け、スプリングフィールドのホームステット新聞のジュニア記者として雇われ、夢を実現し始めた。収入はティッシュ工場での賃金よりもほとんど良くなかったが、1911年に結婚し、翌年には女兒を授かった。しかし、その女の子は3歳の誕生日を迎える頃に亡くなった。その「恐ろしい悲しみ」にもかかわらず、あるいはそれゆえに、彼はこれまで以上に仕事に励み、並外れた描写力を持つ記者としての評判が高まり、人生で初めて経済的に余裕ができた。その後数年間、『レッドブック』、『コリアーズ』、『サタデー・イブニング・ポスト』といった全国的に有名な雑誌に掲載された彼の特集記事は、何百万人もの読者に賞賛された。

第一次世界大戦が終わるころには、ペリーの名声は高まり、出版社から東欧に赴任する外国特派員として任命された。潤沢な経費と、アメリカ政府から与えられた「領事クーリエ」という外交官としての階級を手に入れた彼は、1918年初めにロシアに向けて出発した。彼にとって、この任務は楽しい冒険であり、高給取りのお遊びであり、海外で休暇を過ごすチャンスだった。しかし、それ以上のものだった。運命的な航海に出るまで、ペリーは幸福な新進気鋭の作家であり、自分の信念など持っていなかった。数年後、この体験が彼を“何の変哲もない作家から厳しい十字軍の一員に変えた”と回想している。

彼は2年間、シベリアからウクライナ、中央ロシアの草原、極東、そしてアジアを経て日本まで、列車と馬に乗って8,000マイルを走破した。これらの旅を通して、彼は共産主義革命の目撃者となった。農民の女性が納屋の戸にはりつけにされ、教師と生徒全員が撲殺され、脳みそが黒板に飛び散った学校の教室を見た。村全体が殺人によって過疎化し、あらゆる街灯から死体がぶら下がり、近くの小川を詰まらせていた。これらの犠牲者は、軍関係者であることはほとんどなく、政治的な関係者であることもない。ほとんどが農民や工場労働者といった庶民だった。赤軍が通過する

先々で遭遇するこのようなおぞましい光景は、彼の心を動揺させかけた。しかし、あまりにも日常的な光景だったため、彼は毎日通る血の海に次第に慣れていった。

共産主義はイデオロギーではなく、異邦人社会を破壊するためにユダヤ人が率いる最悪の犯罪者集団が組織したものに過ぎないことを、彼は身をもって知った。これは憶測ではなかった。彼の知るコミッサール（何人かはインタビューに答えている）は事実上すべてユダヤ人であり、彼らの活動家の大半は、普通の殺人者や刑務所から「解放」された変質者であった。彼らの動機は憎悪、権力、復讐であり、それ以外の何ものでもなかった。平等」や「平和」に関する彼らのスローガンはすべて、彼らの犠牲者であるロシア国民の中の思慮のないリベラル派を騙すための見え透いた戯言だった。成功に酔いしれたユダヤ人たちは、他の異邦人諸国でも同じような分裂を煽ることで、世界征服の計画を公然と自慢した。彼らはペリーに、ロシアは単なる踏み台であり、国際転覆のための基地に過ぎないと言った。彼らのインチキ “共産主義” ですら、まったく無用の長物であり、わずかな気まぐれで虐殺をためらわない彼ら自身の信奉者と同じだった。彼らの長期的な目標は、異邦人が進んで奴隷となり、彼らの才能と労働力で国際経済を活性化させる一方、ユダヤ人がすべての重要な権力の座を支配する、一つの世界政府であった。“ロシアの次はヨーロッパ、その次はアメリカだ！”と、ある脂ぎった共産主義者はペリーに向かってほくそ笑んだ。

「ハリウッド万歳

海外で政治的に目覚める前、彼はユダヤ人について何も知らず、成長する過程で家庭でユダヤ人について議論するのを聞いたこともなく、せいぜいキリスト教以外の宗教のメンバーとしてしか考えていなかった。変わり果て、揺り動かされながらアメリカに戻ったペリーは、1920年にペンシルベニア州のルイス・F・マクファデン下院議員に報告した。この政治家は、その話を聞いて愕然とし、自ら「シオンの長老たちの議定書」を議会の議場で朗読し、この極めて重要な文書を正式に議会の記録に残した。（議定書は、ユダヤ人指導者たちを異邦人社会に対する政治的・経済的支配者の

地位に就かせるためのアジェンダを表している)。予想通り、ヒステリックなユダヤ人たちから詐欺だと非難された議定書は、リンカーンとブラジェットが聖杯伝説について書いた人気本『聖なる血-聖杯』がその歴史的ルーツを立証した1984年になって検証された。) その直後、ペリーは司法省の役人と国務省情報局長のロバート・シャープを紹介された。彼らは、ロシアとアメリカにおけるユダヤ人の扇動に関する彼らの豊富なファイルによって、彼の経験が完全に裏付けられたと話した。今日、アメリカの政治家がユダヤ人の脅威を批判することをほのめかすことは、まったく考えられない。

カール・マルクスが約束したコーシャー・ワンワールドの「歴史的必然性」を止めるものは何もないように思えた。ペリーはバーモント州の自宅に戻り、文明がゆっくりと包まれていく「恐怖の浴場」を忘れようとした。彼は落ち着きを失い、苛立ちを感じ、住みづらくなり、妻とは離婚した。当時は戦後の繁栄の享楽主義にどっぷりと浸かっていた20年代だった。人々は享楽に生き、深刻な問題は放っておいた。フェリーもまた、その時代の精神から免れることはできなかった。自分の良心から逃れようとした彼は、作家としての名声が先行するカリフォルニア州ハリウッドに逃れ、M.G.M.とユニバーサル・スタジオで脚本家として雇われた。M.G.M.やユニバーサル・スタジオで脚本家として雇われた彼は、当時の一流映画の脚本を執筆し、精力的に働いた。自作の短編小説『ショック』の映画版脚本も手がけ、たちまち大ヒットとなった。彼の作品は非常にレベルが高く、すぐにハリウッドで最も尊敬され、最も高い報酬を得る脚本家のひとりとなった。彼の伝記作家の言葉を借りれば、サイレント映画界を代表する俳優のために書いた彼の脚本は、「ロン・チャンシーの名声を確立し、2人の間に友情を築いた」のである。チャンシーに加え、彼はテダ・バラ、チェスター・コンクリン、その他の有名な俳優、プロデューサー、監督たちの家に“常に出入りしていた”と主張している。

ハリウッドの上流社会での生活に忙殺されながらも、ペリーは時間を見つけては小説を書き、その名は現代アメリカ小説の最高峰に躍り出た。『グレイター・グローリー』(ニューイングランドの小さな町の素朴な価値観を描いた作品)と『霧』(ラブストーリー)はともにベストセラーとなり、批評家からも絶賛された。彼はF・スコット・フィッツジェラルドと

比較され、少なくともシンクレア・ルイスと同等とみなされた。しかし、金と称賛が彼に心の平穩をもたらすことはなかった。皮肉なことに、彼はもともと東海岸の現実から逃れてハリウッドのファンタジー工場に向かったのだが、観客を「麻痺させ、麻酔をかけ、概して騙す」プロパガンダに映画芸術を変質させていた、大部分がユダヤ人の映画産業のただ中に身を置くことになったのだ。「異邦人が創造性に集中する一方で、二番街の毛皮職人やミルウォーキーのズボン押し職人たちは、定型のドラマを撮影するためにスタジオを開き始めた。ロシアでそうであったように、ユダヤ人の影が自分の国にも落ちているのを目の当たりにして、彼はハリウッドの幻想と関わってきたことを内心恥ずかしく思った。

1928年5月29日、成功の絶頂にあった彼は、突然、個人的な深い感動的な体験に直面した。彼はそれについて『永遠の7分間』に書き、この本は9万部売れた。1930年までに、彼は読者から2万通以上の手紙を受け取った。この小冊子の[現象]的な成功にもかかわらず、著者は、個人的に重要な「偶然の一致」というシンクロする出来事は、私たちを何らかの神の計画に結びつける、誰の人生にも起こることである、という主張以外には、自分の体験に関する詳細をほとんど明かさなかった。宗教家であったこともないペリーは、神の聖なる稲妻によって馬から叩き落された聖パウロではない。彼に何が起こったにせよ、それは若きヒトラーがオーストリアのリンツで15歳の学生だったとき、ワーグナーの音楽の演奏の中に自分の将来の使命を垣間見るものがあり、自分の人生を幻視したのと似ていないわけではないようだ。このような個人的に重要な出来事は、それほど珍しいことではなく、たいていは高位の革命的人物に起こる。いずれにせよ、ペリーは、反異邦人を増やす「映画製作という魔術」に時間を費やしていることが無駄であることを悟り、それが何であれ、残りの人生を有意義な仕事に捧げようと決意した。彼は偉大になる準備はできていると感じていたが、方向性を見失っていた。

そして何よりも、アーリア人種と西欧文化のために何か価値あることをしたかったのだ。彼はドイツで起きている国家社会主義革命を知らなかったわけではなかったが、ユダヤ人の巨大な力に勝利することはあり得ないと考えていた。彼は、ロシアのぬるぬるした共産主義者が、ヨーロッパが次の犠牲者になると予言していたことを思い出した。彼は『我が闘争』を研

究し、そこに明確に記されている原則を米国でも適用できないかと考えた。あまりに出来すぎているように思えた。翌年、1920年代の見せかけの繁栄は世界恐慌によって崩壊した。アメリカは破産し、国民は初めて本当の恐怖を知った。何百万人もの幻滅したアメリカ人が、急成長する共産主義運動とフランクリン・ルーズベルトの見え透いた嘘に騙されるのを許す中、ペリーはロシアで目撃した大混乱と同じパターンが自国でも再現されていることに気づき、愕然とした。

シルバー軍団の誕生

しかし、1933年1月30日にアドルフ・ヒトラーが政権についたとき、ペリーは雷に打たれたような衝撃を受けた。不可能が起こったのだ。少なくとも世界のどこかで、異邦人が自分たちの人種的存在のために団結したのだ。結局、全能のユダヤ人は敗北したのだ。白人がドイツで自分たちの民族を救うことができたのなら、ここでも同じことができるはずだ。その翌日、ペリーはシルバー・レギオンを設立した。この組織は、ほとんどの歴史家によって、アメリカにおける最初の本物の国家社会主義スタイルの組織とみなされている。確かに、米独同盟のルーツはその10年前に遡る。しかし、それは本質的には友愛団体であり、政治的な目的は、ずっと後になって、アメリカと第三帝国の間の平和を守ることに外にはなかった。シルバー軍団は、それとはまったく異なるものとして始まった。設立当初から、その推進力は政治権力の獲得であり、いつの日かアメリカ政府となり、『マイン・キャンプ』の基本に基づく民衆国家を樹立することであった。これらの明白な政治的・哲学的目標よりもさらに重要なことは、新しい精神、白人種のダイナミックな意志が、かつてないほどアメリカ人を鼓舞するために召喚されることであった。

ペリーは自分の組織が国家社会主義者であることを明確に示したい一方で、できるだけアメリカ的な組織に見せたいと考えていた。彼は鉤十字のシンボルを愛し、その汎アーリア的な意味を理解していたが、それが今や外国勢力の公式エンブレムであることも知っていた。自分が他国の代理人であるかのような印象を与えたくなかったのだ。古い鉤十字の代わりに、彼は新組織のシンボルとして "L" の文字を選んだ。これは、さまざまな状

況下で再現しやすく、アーリア人種への愛、アメリカ共和国への忠誠、ユダヤ人からの解放、そしてもちろん銀色軍団そのものを表していた。旗は、正方形の白い旗に大文字のLを緋色であしらったもので、彼が自らデザインした。その後9年間、この旗は何百万人ものアメリカ人の目に触れ、激しいストリート・バトルに持ち込まれ、連邦のすべての州に掲げられることになった。

しかし、最初のシンボルマークを作っただけで、ペリーはどこからどう手をつけていいのかわからなかった。結局、彼は自分の文才に頼って、タブロイド紙『リベラシオン』を自費出版した。この新聞はセンセーションを巻き起こし、多くの資金援助者だけでなく、彼のような表現力豊かな作家たちや、最初は十数人、やがて数百人、そしてごく短期間には数千人の失業者たちが、路上でこの新聞を売ろうと集まり、事実上一夜にして成功を収めた。ニューヨークやワシントンD.C.のようなユダヤ化された都市では、初期の活動家たちはコーシャーの暴徒に襲われた。つまり、ヒトラーのストームトルーパーを必要としたのと同じ敵が、シルバーシャツの誕生にも責任を負っていたのである。ペリーがこの名前を選んだのは、ドイツの親衛隊を意識したものであることは明らかだが、新聞販売や公の場での演説における彼らの存在は、それに劣らず重要なものであった。シルバー・シャツは、あっという間にシルバー軍団となった。軍団員の大部分は、決して腕利きの革命家ではなく、工場、オフィス、高校や大学のキャンパスで働くタフなストリートファイターだった。その多くは元軍人であり、インチキ「すべての戦争を終わらせる戦争」で裏切られた退役軍人でもあった。彼らは大恐慌のユダヤ的本質を見抜き、F.D.R.をこの国に与えた最もユダヤ化された大統領とみなしていた。そして何よりも、自由主義的・資本主義的・民主主義的詐欺を一掃し、その代わりに、自分たちの人種的遺産を深く自覚する幸福な市民による自由な共和国を建設しようとした。その目標を達成するために、彼らは、合法的で憲法に則った手段で指導者を政権に就かせることを真剣に目指した真の政治運動を構築しようと努力した。

彼らの軍服は、ヒトラーのストームトルーパーが被っていたものと同じ帽子、青いコーデュロイのズボン、レギンス、ネクタイ、そして心臓の上に赤い「L」のマークが入った銀色のシャツで構成されていた。そのヨー

ロップ的な外見を相殺するために、シルバー・シャツは星条旗と軍団旗を並べて掲揚することを欠かさず、彼らの公式国歌は南北戦争の有名な行進曲「共和国戦没者讃歌」に合わせた親アーリア的な文章であった。「銀は我々の戦いの純粹さを象徴している」とペリーは宣言した。こうしてペリーは、テルモピュライ（アーリア人とユダヤ人の究極の生存競争）を想起させながら、“偉大なるマラソン”と称するものを開始した。

1933年末までに、軍団の成長は驚異的なものになった。ペリーは、自分が書くのと同じくらい雄弁に話をすることに気づき、全国各地にユニットが誕生した。1936年までには、彼は全国的に知られた公人となり、すでに全国で何十万人もの農民、学生、主婦、そして最も一般的な失業者を前に演説を行っていた。シルバー・ビューグルス（シルバー軍団の鼓笛隊の名前）の突き刺すような音に、小さな町の男たちは突然活気づく。彼らは帳簿や旋盤から首をかしげる。波打つ旗が、この大成功を収めたユダヤ恐慌の間、彼らがますます不機嫌になって世界を見ていた霧のかかった窓を通り過ぎる。彼らは歩道に展開し、大衆の憤りを和らげるために何かをしているアメリカ男らしさの最高の見本を眺める。彼らは自分の役割を果たしたいのだ」。増え続ける彼の信奉者の軍団のように、国家社会主義活動家である彼は、“我が国の現在の歴史の本質と繊維の一部”であると感じていた。資本主義民主主義は失敗したが、その腐敗した残骸から、共産主義という怪物の子孫が生まれようとしている。ロシア国民は、その怪物を子宮の中で押しつぶすことに失敗し、ひどい苦しみを味わった。私はそれを目の当たりにしたからだ。同じことがここでも起こっている。資本主義や共産主義の闘争ではなく、白人文明とユダヤ人の闘争なのだ」。

マーチのシルバーシャツ

ペリーのシルバー軍団の組織はユニークであった。シルバー・シャツの訓練のための常設の兵舎があり、地方の部隊がアメリカのほとんどの州とすべての地方に栄えていたが、中央の本部ビルはなかった。その代わり、信奉者たちに親しまれていた酋長は、フォードのツーリングカーで軍団を運営していた。しかし、彼は常に移動し続け、本部から本部へと移動し、その途中で野外集会や大集会を開いた。年間2万マイルという驚異的な距離

を走ったのだから。彼がその時たまたま訪れていた場所が全国本部となり、そこから他の本部に電話をかけていた。この極めて機動的なリーダーシップは、さまざまな部隊を非常に緊密に結びつけ、ペリーは全米各地のあらゆるレベルのアメリカ人に対する多大な理解を得ると同時に、何百万人もの人々に個人的に知られる政治家になった。

権力を獲得するための彼の計画は公然かつ直接的だった：まず、シルバー・レギオン・プログラムを仲間に知らせる。そして、彼と彼の活動家たちが実践的な政治を理解するために必要な経験を積むために、ある州の次の大統領選に参戦するのである。その実地訓練によって、彼は1940年の国政選挙に本腰を入れるのである。その結果、ワシントン州では彼の支持は非常に広まり、彼の名前が大統領選の投票用紙に載ることになったが、これはシルバー・シャツが懸命に戸別訪問キャンペーンを行い、何千人もの署名を集めたおかげである。(彼が獲得した有権者の反応について書かれた資料を見つけることができなかつたので、私の調査は空白となった。すぐに明らかになるであろう理由から、私はそれが重要なものであったに違いないと結論づけている)

F.D.R.の会長復帰は、「地上の光と闇の勢力の対立」-ペリーが最初の全国ラジオ演説で語った、来るべき第三帝国との戦争の予言-を接近させた。彼の当選によってシルバー軍団の会員数は3倍に増え、退役したアメリカ陸軍大将のジョージ・ヴァン・ホーン・モーズリー、下院議員のジェイコブ・ソーケルセン、チャールズ・A・リンドバーグ・ジュニア、ウォルト・ディズニーなどの重要人物を獲得した。彼ら全員が彼の集会に参加し、酋長と演壇を共にする者もいた。彼は、このようなハイレベルの支援と、何百万人も平均的なアメリカ人からの明らかな受け入れがあれば、シルバー軍団には大きな運命が待ち受けていると確信していた。ペリーは、アリア化されたワシントンを中心とし、ベルリンと東京を両端とする世界枢軸を待ち望んでいた。中国がスターリンの衛星になる寸前でよろめく限り、満州の日本軍は共産主義という陰湿な蛇から文明を守った。日本にしばらく住んでいたペリーは、ソ連に対抗する極東の防波堤としての日本人を深く尊敬するようになった。それゆえ彼は、ルーズベルトが日本を破滅的な戦争に駆り立て、共産主義者のアジア進出への道を大きく開こうとすることに愕然とした。韓国とベトナムの不自由なアメリカ兵が証明

しているように、酋長はここでもあまりにも予言的であった。

1940年の大統領選挙が近づくとつれ、10万人（1939年、下院非米活動委員会特別委員会）の勢力となったシルバーシャツは、F.D.R.から非常に深刻に受け止められていた。ルーズベルトの人気はすでに衰えており、再選を危ぶんだ彼は、FBIにペリーを「調査」するよう命じた。フランク・マーフィー司法長官は、明らかに政治的な迫害であることに難色を示し、大統領に「シルバーシャツを殉教者にするのは間違いだ」と言い訳した。殉教者、殉教者 - 民主党の現職の座が危うかったので、彼はペリー氏の言うところの「異邦人サトラップ」に命じて、シルバーシャツの生活を悲惨なものにさせた。彼らのノースカロライナ部隊（軍団最大の本部であり、全国事務所に最も近いもの）は連邦執行官に襲撃され、印刷機を含むその財産は没収され、住民は逮捕され、さまざまなかち上げの罪で投獄された。それでも、没収された資料や合法的に所有されていた建物そのものは、貧困にあえぐシルバー・シャツには何一つ返還されなかった。

ノースカロライナの襲撃事件と時を同じくして、ディックスタイン下院議員（ニューヨーク）は、シルバーシャツのユニフォームを公に展示することを全国的に禁止するよう求めた。酋長はすぐに反論した：「私がどんなシャツを着ていいのか、あるいは緋色のL字のシャツを着ていけないのか、私に指図できると思うようなカマ野郎は、エイブラハムの懷に飛び込むまで忘れないだろう。無愛想な伝記作家も認めているように、「ペリーは自分が嫌がらせを受けていると信じるに足る根拠を持っていた」のである。”

嫌がらせは加速し、彼は脱税で起訴された。この政治的動機に基づく告発には打ち勝ったものの、差し迫った投獄から身を守るために必要な莫大な費用と時間が、1940年の選挙戦を台無しにした。その頃（11月）には、国家社会主義ドイツとの紛争が拡大しており、米国の参戦は事実上避けられないと思われていた。従って、ペリーは軍団の方向性を、選挙運動から、ルーズベルトと彼のユダヤ人戦争推進派に反対することに変えた。シルバー・シャツは、米独同盟、クー・クラックス・クラン、その他大小さまざまな愛国的組織と合流し、平和のための大衆的反対運動の動員で団結した。真珠湾攻撃のわずか1週間前に行われた全国世論調査では、アメリカ

国民の4分の3以上が、アメリカが物理的に攻撃されない限り、枢軸国との戦争に反対していたのである。ルーズベルトがどのようにしてこの前提条件を整えたかは、『ニュー・オーダー』が販売している書籍のいくつかに詳しく書かれているが、複雑すぎてここでは語り尽くせない。アメリカがついに戦争に突入した後、ペリーは自国が奈落の底に落ちていくのを目の当たりにし、心を痛めた。過去9年間の彼のライフワーク、シルバーシャツ組織の素晴らしい成功とその熱狂的な草の根の支援は、すべて無駄に思えた。彼は軍団を解散させ、その新聞も解散させた。

彼は1935年に再婚したが、娘がいる新妻と過ごす時間はほとんどなかった。絶望の淵に立たされたペリーは、インディアナ州ノーベルズビルという小さな町でふたりと過ごし、自分が救おうとした世界を忘れようとした。彼の自己犠牲の年月は、“人類にビジョンをもたらそうと努力する、ありがたくない仕事”に思えた。しかし、妻のヘレンや親しい仲間たちは、最悪の事態が起こったにもかかわらず、あきらめずに続けるよう彼に促した。やや励まされた彼は、新司法長官のビドルから、戦争努力を損なわない限りは自分の見解を発表することを許されるという個人的な保証を求めた。ビドルは、ペリーは自粛を恐れることなく出版してよいという名誉ある言葉を彼に与えた。戦争中とはいえ、表現の自由は憲法で保障されていた。

戦時下のアメリカにおける親ヒトラー点呼

戦時下のヒステリーが全国を覆う中、彼は新しい雑誌『ロール・コール』を創刊した。この雑誌は、妥協を許さない国家社会主義的なもので、有名な編集者とシルバーシャツのライターたちは、堂々としたものであった。彼らは、ルーズベルトが戦前に日本人に課した石油禁輸を記録し、日本人が自国経済の締め付けを目の当たりにするか、アメリカの支配から自らを解放するために戦争の危険を冒すかを迫った。F.D.R.は、戦時産業だけが提供できる大量生産によって、失速しつつある自身の「ニューディール」経済を救うために戦争を望んでいた。赤軍は、ヒトラーの軍隊から瀕死のソビエト奴隷帝国を救うために戦争を望んだ。ユダヤ人は、自分たちが世界中の異邦人に押し付けて成功した資本主義／共産主義の殻ゲームを維持

するために戦争を望んだ。最悪なのは、国家社会主義の光の勢力に戦争を仕掛けることで、騙されたアメリカ人が、ヒトラーが一扫する前にドイツ社会を腐敗させた内部腐敗の勢力が、わが国にも根付くことを可能にしてしまったことだ。

ペリーは、政府の承認を得るために、出版前の校閲用コピーを司法長官事務所に送った。ビドルは、“愛国的”なアメリカ人の戦争ヒステリーによって、シルバー軍団の最後の一団が自縄自縛に陥ってしまうことを確信していたので、寛大な態度でいる余裕があった。しかし、ロール・コールが信じられないほどの成功を収めたことを知って、彼ははっとした！彼がペリーを圧倒すると思っていた大衆の敵意とはほど遠く、この気性の荒い小さな出版物はどこにでも出回っていた。そして、人々はその悪名高い編集者に公然と同意していた。ペリーの伝記作者によれば、「多くの部数が、戦争中のあらゆる戦場の米軍兵士の間で発見された」という。1942年3月に入ると、発行部数はまず2倍になり、次に4倍になった。おそらく5週間も経たないうちに、『ロール・コール』は驚異的な成長を遂げた。明らかに、誰もがハリウッドのプロパガンダ工場に取り込まれたわけではなかった。ハリウッドのコーシャ映画製作者たちは、「ロスチャイルドの家と短パンをはいたルーズベルト、ナチのスパイの告白とパジャマを着たスターリン、異邦人文明を銃乱射する凶悪犯のドラマ、さまざまなバスターティューを襲撃する暴徒、10億ドルの便所のために土を割るニューディーラー」に夢中になっていた。「私たちが戦争に突入したのは、わが国に押し付けられた利己的なユダヤ人政策が、米国を破産寸前まで追い詰めたからである。

そして冬の終わり、彼は前年の12月7日に真珠湾に駐留していた米海軍将校から緊急の連絡を受けた。その将校によれば、F.D.R.はアメリカ国民に攻撃について嘘をつき、“被害は甚大だが、わが太平洋艦隊はまだ無傷である”と伝えていたという。その将校は、大統領が許可したよりもはるかにひどい惨状を個人的に目撃したと語った。実際、5隻の護衛のない（したがって運用できない）航空母艦とその旧式機を除いて、すべての米軍主力艦が沈没するか、大損害を受けた。ペリー記者は、「日本の爆撃機は真珠湾を、キオックで放棄された空軍のプロジェクトのようにした！」というニュースを大急ぎで印刷した。街頭を賑わせた特別版は爆弾記事とな

り、戦争で最も早く犠牲となった真実に飢えていた大衆に食いつかれた。しかし、司法長官がF.D.R.に通常の事前コピーを見せたところ、大統領は戦艦アリゾナのように爆発し、4月4日にペリーの逮捕を要求した。罪状は大逆罪であった！

ビドルは、ペリーとの名誉の約束を破らざるを得なくなり、大陪審に命じて、酋長を12件の扇動罪の重罪で起訴させた。裁判の最中、強烈な政治的動機を持った検事、オスカー・ユーイング（民主党の葉巻を吸う「大物」）は、アメリカ太平洋艦隊が真珠湾で大損害を受けたことを力強く否定し、ノックス海軍長官を召喚して、事態は十分に收拾されており、警戒する必要はないと裁判官（と、それを聞いていた広大なラジオの視聴者）に保証させた。彼が話している間にも、アメリカ軍は太平洋戦域全体で連戦連敗を続け、真逆さまに後退していた。しかし、ペリーの弁護人が、真珠湾の引き揚げ作業員全員を法廷で証言させ、ロール・コールの物議を醸すレポートを支持させると脅すと、裁判官は速やかに起訴の主要部分を取り下げた。

そして今度は、アメリカ経済を破綻していると虚偽の説明をし、戦時中の国民の信頼を損ねたとして告発された。弁護側は万全の準備を整え、連邦準備銀行のマリナー・エクルズ議長を召喚した。彼は反対尋問と宣誓のもとで、アメリカ経済は真珠湾攻撃で血を流した戦争生産によって最後の瞬間に救われたに過ぎない、と証言しなければならなかっただろう。しかし、判事は召喚状を却下した。

判決を受けた！

第二次世界大戦のさなか、アメリカが太平洋から大西洋にかけて敗戦を経験していた時期に、このような行動をとったことを考えれば、計り知れないほど勇敢な行動である。

彼らの支持にもかかわらず、また彼に対する起訴が不成立に終わったにもかかわらず（というより、反逆行為に関する証拠がまったくなかったのだ）、ペリーは最大警備の連邦刑務所に15年の禁固刑を言い渡された。検

察側は、ペリーが反逆行為を犯したことを証明する証拠を何一つ提出することができなかつたのである。それから**25**年後、何千人ものユダヤ人共産主義者とその愚かな異邦人が、街頭でアメリカの国旗を燃やし、ヴェトナム戦争へのアメリカの関与に激しく抗議した。ペリーとは異なり、彼らは誰ひとりとして厳しい刑には服さなかつた。その後、リンドバーグは『シカゴ・トリビューン』紙の取材に対し、「ペリーは裏切り者ではなく、真の愛国者だ。ペリーは、こうした人々の見せしめにされるべきだったのだ：自分の意見は自分の胸にしまっておけ！

刑の厳しさに唾然とした彼は、反対していた戦争の無言の捕虜となった。刑務所の塀の外の西欧諸国が自殺する中、彼は熱心に本を読み、深く考えた。悲しみに暮れながらも、彼の中の何かが絶望を許さなかつた：「いつの日か、我々アメリカ人は、**400**万人のユダヤ人からなる異星人の大群が我々に何をしたのか、そしてなぜ我々はそれに苦しめられるほど愚かだったのか、本当の意味で理解できるようになるだろう」。40年代の破滅的な**10**年が終わろうとしていたとき、ペリーの娘と義理の息子は、古い同志たちの助けを借りて、アピールのための十分な資金を集めることができた。それは失敗に終わったが、彼らの忠誠心は衰えることなく、彼らは再挑戦した。**1952**年、彼の予言通り、アメリカ人がアジアで無益な死を遂げる中、ペリーは「いかなる性質の政治活動」にも参加しないという条件で、不本意ながら仮釈放された。健康状態は芳しくなく、娘夫婦がインディアナ州ノーベルズビルの実家で看病した。

ふたりで新しい出版社ソウルクラフト・プレスを設立し、戦後初の著作を発表した：『サムシング・ベター』である。その中で彼は、ヴェトナム時代にアメリカが経験した社会的な大混乱を引き起こした最も責任ある人物としてルーズヴェルトを挙げた。「ルーズベルトは今日のカオスの先駆者であり、将来、国家社会主義的な国家を樹立するために必要な人物であった。しかし、彼を経済的に立ち直らせたのは、主に神秘的で形而上学的なテーマを扱った**2**つの新しい雑誌の創刊だった。人生の初期と同様、書くことは彼に目的と充実感を与えた。そして彼は、**1928**年に困難なドラマチックな道を歩むきっかけとなった、あの決定的な体験を後悔することなく思い出していた。それはすべて起こるべくして起こったことであり、それゆえ、知的には理解できなくても、彼が本能的に信頼していた、ある高次の

目的の一部であるように思えたのだ。晩年、彼は娘と昔の仲間たちの愛に包まれ、たとえ失敗したとしても、自分の民族と国家のために最善を尽くしたということに満足していた。そして彼の敵、つまり彼の民族の敵は、長い投獄によって彼を称えた。彼はまた、ジョージ・リンカーン・ロックウェルのアメリカ・ナチ党の台頭を目の当たりにするほど長生きした：この現象は彼に深い慰めを与えた。

ウィリアム・ダドリー・ペリーは1965年7月1日、75歳で眠るように息を引き取った。彼が横たわっている間、葬儀場の前庭で何者かが十字架を燃やした。その燃える十字架が、友人によって立てられたものなのか、それとも敵によって立てられたものなのかは定かではない。彼の逝去は（もちろん悪意を持って）全米のニュースメディアで報道されたが、その後すぐに彼の名前は闇に葬られた。

1992年、インディアナ州の小さな町ノーベルズビルは、ある真夏の夕方、家の外で遊んでいた近所の少年が、足元に落下した流星に間一髪で見逃されたことで、再び全国的な注目を集めた。「17年前にファシストの指導者、W.D.ペリーが亡くなって以来、アメリカ中がこの町に注目するようになった」と地元紙は報じた。

ペリーの白人愛国者としての人生もまた、同じように急成長した。彼は、わが国初の国家社会主義スタイルの人種活動家であった。彼は、今日のアメリカにおけるロックウェル司令官とホワイトパワー運動の前身である。彼は、勇気と知性と誠意をもって推進すれば、10万人のフォロワーが証明したように、我々の考えには多くの支持者を獲得する力があることを証明した。ユダヤ獣の腹の中で生きた殉教は、彼の後に続く闘士仲間の心の中で名誉ある地位を獲得した。敵に捕らえられたときに全力を尽くす勇敢な兵士が失敗するのと同じように、彼は失敗しなかったのだ。

歴史的状況は、彼が夢見たアーリア人のワシントンを作ることを許さなかった。しかし、世界的な白人至上主義をめぐるはるかに大きな闘争の中で、彼は善戦した。酋長と彼のシルバーシャツは、われわれの先陣を切った。彼らは私たちに、彼らの先導に従うよう鼓舞している。そして、いつの日か地球上に掲げられる我々の勝利の旗は、我々と同様に彼らのものと

なるだろう！

情報源

Ribuffo, Leo Paul, *Protestants on the Right*: ウィリアム・ダドリー・ペリー、ジェラルド・B・ウィンロッド、ジェラルド・L・K・スミス、全2巻、イエール大学。



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFRÜHMUNGSABTEILUNG

Der Kampf geht weiter !

Seitdem Hitler nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 die nationalsozialistische Bewegung wieder als ein zentrales Element der Nachkriegszeit und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

„Menschen von Konsumismus, Verfallung, Verführung und Verführung haben nicht angebracht, den Kurs der gesamten Welt unseren hoch geliebten Führer Adolf Hitler zu entwickeln.“

Alle Nationalsozialisten sind weniger arbeitslos, Völkern und Rassenbewusstsein werden Schicksal an Schicksal an Kampf um die Erhaltung unserer weißen Völkern.

Die Bewegung ist zwar verboten geworden, aber die Größe des biologischen Volkstums ist keine auch viel größer als in die Vergangenheit.

Ein erneuertes Europa ist oben dabei, die Völkern – gegen alle weißen Völkern () – zu befragen, keine Mittel und Eisenbahnen, Überführung und Rassenbewusstsein.

Ob „Nazi“ oder „Hitler“, ob in Währungs- oder in Braunkohle, ob in Propaganda – hervorgeht nicht auf einem Schicksal anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitler Hitler!
Gottwald Luck



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.04.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningthescient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在のページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の終結は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を掘しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the **NEW ORDER**

Number 176 (133) Founded 1973 April 26, 2022 (133)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defamation have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware contemporary and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture denigration, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind every National Socialist must do his duty!

Hitler Hitler!
Gottwald Luck



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!